



特定医療法人社団

# 鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス

<http://www.hoyukai.org/>

第121号

発行:2016年5月15日

発行責任者:

特定医療法人社団 鵬友会

## 横浜ほうゆう病院は スピーディーな対応を心がけています

横浜ほうゆう病院 院長 日野 博昭



1年ぶりの登場となります、横浜ほうゆう病院、院長の日野です。今回は当院の診療機能について紹介させていただきます。このところ当院では、全体で常時30床前後の空床が続いています。平成26年4月1日以降、医療保護入院が見直され、入院当初から早期の退院を目指した手続きが導入されました。そのためか、退院患者数が以前より増加しています。入院患者獲得の対策も行い、実際に入院も増えていますが、退院の勢いに追いついていけない状況です。高齢者施設や療養病床は、神奈川県医療圏区分において当院が存在する横浜市西部地区が最も多いことも退院が増えてきていることに影響しているのではと考えています。そこで、当院の診療機能をあらためて外来・入院と分けて紹介させていただきます。

### I. 外来診療について

横浜ほうゆう病院は認知症疾患を診療対象として開設されました。当初、外来診療は行わず、入院のみで運営していましたが、小阪前院長が就任された頃から外来診療も行い、年々患者数も増加しています。その内容は

#### 1. 認知症疾患の鑑別診断

#### 2. BPSD（認知症の行動症状と精神症状）への対応

1の鑑別診断は予約制で行っていますが、当日のうちに予診→検査（採血、心電図、レントゲン、CTなど）→心理検査→診察まで行い、核医学検査などの追加がなければ、その日のうちに診断ができます。もちろん、必要と判断すれば近隣の提携している病院へMRIや核医学検査などの追加検査を依頼しています。他院の物忘れ外来では、受診日に診察、検査（検査が予約制なら再度検査のために来院が必要となります）、そして結果は後日ということで1週間から1、2か月程度の時間がかかるところが一般的です。つまり当院の認知症鑑別は、1日で結果が出るという点が大きなメリットの1つで、早く治療を導入し、介護サービスの利用も早く進めること

ができます。また、当院の医師は全員日本精神神経学会専門医の資格を持ち、日本老年精神医学会や日本認知症学会などの精神科領域でもさらに認知症に特化した専門医資格を持つ医師も多数在籍しています。

2のBPSDについても上記の専門医資格を有しているため向精神薬を利用した薬物療法も安心してお任せいただけるかと思えます。より副作用の少ない薬剤を選択し、より少ない投与量での治療を目指しています。ただし、BPSDには薬物療法ばかりでなく、非薬物療法も大切です。介護保険が未申請であればご利用を勧めていますし、通院患者さんのみですが「看護相談外来」という認知症看護専門の看護師による日常の介護や看護についての相談も受けております。また、当院には介護サービスのデイサービスとは異なる、認知症デイケア「サン・アリス」も併設しております。こちらは健康保険によるデイケアなので介護保険のそれと併用できます。

### II. 入院診療について

当院は215床の入院病床を有していますが、全てが精神科病床で認知症治療病棟入院料1を算定しています。病棟は5病棟に分かれており、全て閉鎖病棟となっています。外来と同様に入院はBPSDへの対応・治療が中心となります。身体合併症への対応は難しいですが、法人内の湘南泉病院への紹介もできますので、お気軽にご相談下さい。また、最近ではBPSDのコントロールが困難でショートステイが利用できない患者さんの短期入院なども対応させていただいております。

昨今、認知症患者が増えてきており、オレンジプランでは在宅患者さんへの支援が重視されています。今後は在宅や施設入所中の患者さんへの診断・治療にもスピーディーな対応が必要とされ、当院はその点において十分にお役に立つことができます。認知症患者さんに関してご心配なことがありましたら是非ご相談いただきますようお願いいたします。

# 局長講話

## 医療法人社団富士恵仁会

～平成28年4月22日（金）～



フジヤマ病院リハビリ室にて  
約100名の職員を前に局長講話

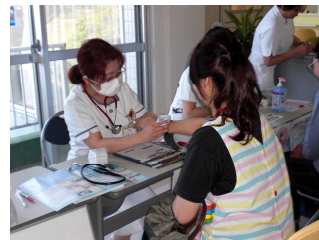
医療法人社団富士恵仁会【フジヤマ病院（一般病院）、リバブルケア（介護老人保健施設）、いかる野（介護老人保健施設）】は、地域密着型で地域の信頼の厚い医療法人として運営しておりますが、引き継ぐ後継者の不在などの理由により、富士恵仁会の強い希望のもと、本年度より鵬友会の一員となりました。

その富士恵仁会において、平成28年4月22日（金）17時～18時、局長講話を行いました。この『局長講話』は毎年、年度初めに池島常務理事が各施設で行っている恒例のもので、富士恵仁会では、初めての講話でした。「鵬友会についてや法人本部研修会について」の内容を中心に講話し、皆さん、熱心に話を聞いていました。

# 看護フェスティバル 2016

ここ数年、『看護の日』のイベントを鵬友会3病院合同で、相鉄線二俣川駅構内で行ってまいりましたが、今年は二俣川駅南口の再開発工事にとまぬ使用できないため、各施設で個々に行いました。湘南泉病院・横浜ほうゆう病院は、病院内で、新中川病院は南万騎が原駅前広場にて、血压・体脂肪測定や健康相談など様々な催しを行い、地域の方々と交流を持ちました。

【湘南泉病院】5/12（木）



【新中川病院】5/12（木）

【横浜ほうゆう病院】5/14（土）



## 国家試験 合格しました!

看護師	穂木 裕子	(湘南泉病院)
看護師	大谷 ひろ子	(新中川病院)
看護師	戸谷 恵	(新中川病院)
作業療法士	豊福 展子	(横浜ほうゆう病院)
作業療法士	皆川 泰子	(横浜ほうゆう病院)
精神保健福祉士	高橋 ゆうみ	(横浜ほうゆう病院)

介護福祉士	竹澤 弘史	(湘南泉病院)
介護福祉士	高橋 明子	(湘南泉病院)
介護福祉士	安藤 奈美子	(横浜ほうゆう病院)
介護福祉士	石井 里美	(横浜ほうゆう病院)
介護福祉士	小澤 久美子	(横浜ほうゆう病院)
介護福祉士	佐藤 香奈子	(横浜ほうゆう病院)
介護福祉士	小林 友美	(阿久和鳳荘)